



## 保育随想

### ★ 動と静！

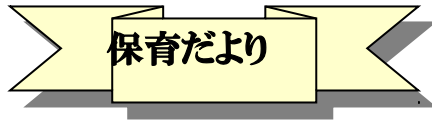
台風15号・19号で大きな被害を受けてお出での方々に、お見舞いを申し上げます。未だに連日の報道の中で惨状が映し出されておりました、心が痛みます。

春日部市からも沢山のメールが発信されております。情報収集の手段として、春日部市メールの受信登録をお勧めいたします。幼稚園でも避難練習や交通安全教室の折りにも、自分の命は自分で守る事を、子ども達にも話して行く必要を感じております。自然と共に生かされて居る私たちですが、今まで以上に気を付けて生きて参りたいものです。

幼稚園でも二学期は自然と関わる行事や体験が出来るように計画を立てておりますと処から、お天気の流れは、とても気になる毎日を過ごしております。自然界の不思議さは、当たり前のことではなく、どうして？の気持ちを抱きながら、収穫の体験や木々の葉が紅葉に変わる事、いつの間にか実がなり、大きくなって色づいて居ることなどは、どうしてなんだろう？ 分からないこと、知らないことを知ろうとする好奇心が、次への意欲に向いていく体験の積み重ねが、生きている！と言うことなのでしょうね。生まれ落ちてから生涯に渡って、この精神生活が生きる柱になって行くのだと思います。いろいろな環境に身を置いて、様々な人に出会う中で、体験を積んで自分作りをしている！そんな中で、自己評価を高め、取り巻く自然や人たちの中で生きる喜びを見い出せるのだと思います。

しかし、人間はいろいろなことに興味がわいて一通りでは歩めないように作られて居るようで、歩みの速度も速めたり、ゆっくりにしたり、当然、立ち止まる事もして前に進むように生きています。後退して歩む練習も経験も意識して行わなければ、後ろに進む生活は有り得ないのです。皆が前を向いて進むように歩きます。後ろ向きに歩くことは、どうも心情的にも宜しくないのです。立ち止まって居ても動かないで一カ所にじっとして居ても、どうも落ち着かないのです。人間は心配を見付けながら生きていると言う人がおりましたが、その様に作られてしまっている私たちですが、何とか自分のペースで、自分で決めて生きて行きたいのでありまして、そのペースを見付けることが学びの根源なのかと思えて参りました。あの人はいつも元気に生きていますね！そんな評価を受けている人も、きっと休んでいます。動ける人ほど十分に休憩を取っているはずで、休憩を上手に取れる人は元気に動けます。きっと、物事の順番を決めて何番目以下は捨てられる人と似ています。休む練習をあまりして来なかった、さりとて長距離のごとく全力では最後まで走れない。静かに休める人、安心して休める人は、動くときにも心も体も重くない。今まで世の流れに沿いながら休む事への後ろめたさを感じながら来てしまった自分を、これからも同じようにハイペースで頑張られますか。頑張ることは尊いことですが、その為にも周囲に気兼ねなく十分に休めて、鋭気を養う事にも同じくらい頑張りたいものです。中途半端は身体が心が悲鳴を上げます。

丁度いい！は自分自身が決めるものですよ。



## 保育随想

### ★ 行事で育つ！

幼稚園を取り巻く木々の葉も落葉の前の紅葉しております、季節が移動していると感じます。それぞれが、次の季節を迎える準備を静かにしている様にも思われ、私たちも一緒に生きていることを改めて感じます。

二学期の総合活動としての発表会も間近に迫って参りました。先日は二日に分けて、それぞれのクラスの総合練習を、子ども達にはミニ発表会として、演じるクラスと見学応援のクラスに分かれて実施いたしました。そして、それぞれの舞台をDVDに収めて翌日から視聴して、発表会に向けて新たな課題をみんなで話し合っ意欲的に取り組んでおります。外で行う総合活動の運動会と趣が異なり、一人一人の距離も近く子ども同士のお互いの意思が通じやすく、この期間の生活の学びは誠に大きなものになることが期待できます。また、指導に関わる先生方の願いも一人一人に寄り添いながら、気持ちを切り替えて、外で思いっきり遊んでみたりしながら、詰込みにならないように、一人一人が考える時間を作り、一日の生活のペースを作ることに配慮して過ごしております。いろいろな場面で自分の気持ちを受け止めてくれる活動が、楽しく一緒に活動できるのだと思います。先生は、心に余裕をもって楽しく、朗らかに生きる子ども達の見本です。そして、品よく生き抜く心掛けが求められています。取り分け行事に向かってだけの生活の姿勢ではないのですが、仕事を通して素敵な人間に成っていきけるのも、子ども達の一途な姿に触れてのお陰かと思ひます。

一人一人の子ども達の成長を見せてもらえることが、私たちの喜びです。一人一人の笑顔を見せてもらい、これからの成長を楽しみに出来ることが、私たちの願いです。同じように思い、共に一緒に活動できる経験は、生涯について回る、仲良く生活できることや周囲の人を大切に思う心の出発点になるのです。そして、何よりも楽しく生きようとする本来持ち合わせている、生きる力が発揮されて行くことでしょう。ず～と友達！みんなみんな友達！そんな思いで過ごせる、毎日で良い思い出が生まれていることでしょう。

職員室でも、先生方の課題をお互いに出して、周りから意見をもらい翌日に向けて、子ども達との活動を思い描きながら、ある種の緊張と共に一日一日を過ごしております。一つ一つのことが、子ども達の成長の支援につながり、先生たちの喜びにつながる行事前の時間を受け止めましょう！と話し合うのです。

お陰様で、一日一日違う健康状態も気持ちも整えて、毎日、元気に送り出していただき、迎えてくれるご家庭の皆さま方の応援をいただいて、変わりなく幼稚園生活が送れております。二学期終了までにお餅つきや誕生会、そしてクリスマス会などの行事が予定されておりますが、それぞれの行事にもそれぞれの願いをもって、一つ一つの活動が、一人一人の子ども達の生活の中に広がるきっかけ作りとして、受け身にならずに体験させて参りたいと思ひます。

## 保育随想

### ★ 始めと終わり！

令和元年度も残すところ一週間余りになりましたね。新たに迎える一年の心構えを列記して、自分の年齢や体力、そして意欲にと向き合う大晦日の生活になっております。

一つ一つ出合いでのお付き合いも丁寧にしてきた積もりですが、そのままに流してしまっていることも、甘えて収めて来ていまして、この時期に年頭のご挨拶をしながらの年賀状は、救いの一助になるんですね。また、日々起きる思わぬ出来事にも慢心することなく、共に働く先生方の思いにも寄り添いながら、方向を決めて歩んできた積もりですが、お預かりする立場での慣れで、ご迷惑をお掛けしながらも一日一日を収めて来た積りの一年でした。

人間は、こちらに来れば、あちらのことが心配になり、あちらに行けば、こちらのことが気になり心配するように作られている様で、悩みや困りごとのない人は居ない、少し昔の人は、なんとって、この世は、苦の娑婆ってくらいだからな～！と生きることの大変さを受け止めて来ておりますが、幾らかの後悔も抱きながらも前に進む気持ちで一年を、お陰様で終わろうとしております。年末に新しい年の目標も書き出してみるのも恒例になって来ました。

幾らかノートに書きだして形に残しますと、年度の途中でも振り返るページにもなるのですが、もう一人の自分がおりまして、努力してますか？心がけてますか？と言うのです。

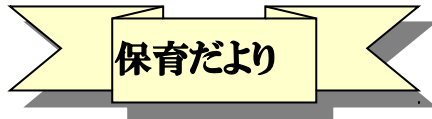
始めようとしたことも自分の生きる道標になるのですが、歩む途中も自分を励ましたり楽しめたりの日々であるのです。近頃は行き先も、そして終わらせ方にも気が行くのであります。多くの人たちが事の始まりに終わりを考える人は少ないと思います。ましてや終わらせ方やまとめる、整理する事などに考えは及ばないものです。挑戦時はそういうものだと思います。生涯、挑戦する、可能性に夢を抱いて生きるようにも出来ているのだと思います。そのことそのものが生きることだとは思いますが、始まりがあることは終わりがあることも

自覚しながら全力の中にも慎重さが必要なことを、私自身もそうですが周囲を見渡しても多々、見失うところでもあります。周囲の人たちとの出合いで自分の気持ちの整理が出来て、前を向いて歩けることもしばしばであります。少し前になりますが、四国のお遍路八十八か所をめぐる中で、一休禅師の言葉に出会い、写し書きをして持ち帰ってくれた方がおりました。それは、丁度よい！というお話でした。

### 丁度よい！

お前はお前で丁度よい、顔も体も名前も姓も お前に それは丁度よい、  
貧も富も親も子も息子の嫁もその孫もそれはお前に丁度よい、幸も不幸もよろこびも 悲しみさえも丁度よい 歩いたお前の人生は 悪くもなければ良くもない 地獄へ行こうと極楽へ行こうと いったところが丁度よい、うぬぼれる要もなく 卑下する要もなく 上もなければ下もない、死ぬ日さえも丁度よい

子ども達の成長をともに喜べる皆さんと共に、新しい年に向かって参りましょう。



## 保育随想

### ★ 朗らかに！

令和2年1月も月末を迎えるに至りました。3学期の始業式で久しぶりに集まれた子ども達一人ひとりの笑顔は、新学期に相応しい集まりになりました。みんなと遊べる喜びやみんなと作り上げる時間は、幼稚園生活の最も楽しいところです。園歌とお正月に合わせての歌を歌い、これからの生活に期待を抱いて各クラスへクラスごとに移動が始まった折に、担当の先生が奏でるピアノを聞いて、自然発生的に体育館内が子ども達の声で響き渡りました。

それも、一人ひとりがそれぞれに周囲と合わせながら楽しそうに歌うのでありました。子ども達を体育館から送り出して部屋に向かう廊下でも、それぞれに賑やかに過ごす子ども達を見て、近頃、目の前のことに心が奪われて、歌を歌うことを忘れていたな～！忙しく流されて生きて居たかな～！そんな気持ちで、周囲の先生方にも、思わずつぶやいてしまいました。年末や年頭に改めて自分の生き方や目標も計画も、思い付くままに記してみたりしましたが、周囲の人たちが居てくれて形に成って行くことも、ついつい忘れがちになるものです。季節の変化の中にも楽しさや喜びが見出せる世界を忘れておりました。それもこれも、子ども達の歌声を聞いて呼び起こして貰えた一日でした。子ども達の生活は沢山のことを感じさせて貰えます。大人の生活に疲れたり生き詰まったりした時は、子どもの生きる姿を見ると好い！自分が忘れていたことを思い出させてくれる。年齢の若い幼い子供として覆うのではなく、生きる魂を持った子ども達は、私たち大人を超える感性を持ち合わせて生きている

ことを感じさせて貰います。今月のタイトルのように、朗らかに生きる心掛けと物事に時間をかけて対応することで、幾らか生きることの負担からも解放されるように思うのです。

どうやら、食べすぎも飲みすぎも、聞きすぎもやりすぎも、そして考えなさすぎも人が良すぎても過ぎたら、朗らかな心情で生き抜けなさそうです。自分の分量、自分の器量を知っておく必要もありそうです。他人のすることに、自分はやらないで口をはさむことは控えたいところです。意見の衝突も落としどころを考えて話に臨むことが肝要です。程を知ったら楽しく生きられる！と賢者は言っております。自分が朗らかに生きる道に通ずる毎日の心掛けかと思うのです。自分の周囲を見渡しても殆どのが周囲の人たちの努力で、形づいているとお思いになりませんか。幾ら付度の世の中、思いやりの世の中とは申しても、本人の願いや意思を家族や周囲に、言葉にして話して行くことから事は始まります。毎日願っていたら、そのことしか頭に入らない。自分で自分の心を洗脳するから、潜在意識となり考えの基本になるように思います。小さなことも大事なことです。繰り返して習慣となり次なる意欲につながるのですから。一方で細かいことにとらわれすぎますと、自然からいただく風が感じられません。周囲の人の思いが見えなくなります。朗らかに生きることは、風になり周囲の人になることなのかも知れません。折角頂いた命ですから周囲の中で、周囲のために生かす気持ちを抱いて新年をスタート致しましょう。



## 保育随想

### ★ 春が来た！

梅は咲いたか、桜はまだかいな！ 暦の上では節分の翌日を立春として春が始まるとされておりますが、春の訪れを梅や桜の開花で報じられます。そして、ひばりやウグイスのさえずりをもって、春の目安にもされていることを聞きました。私は、この季節にいつも浮かんでくる美しいメロディーに乗せて流れる曲、早春賦があります。

**\* 春は名のみ風の寒さや 谷のウグイス歌は思えど 時にあらずと声も立てず 時にあらずと声も立てず**

**\* 氷解け去り葦は角ぐむ さては時ぞと思ふあやにく 今日もきのうも雪の空 今日もきのうも雪の空**

**\* 春と聞かねば知らでありしを 幼少聞けば急がるる胸の思いを いかせよとのこの頃か いかせよとのこの頃か**

作詞は吉丸一昌さんと言う方だそうですが、未だ春遠い寒村の山並みに向かい、姿見えぬ木々の葉陰に息づく小さな生き物であるウグイスの心情にまで思いを寄せる感性に、感動をすると共にこの方の幼少期からの生い立ちや経験や環境にも思いを馳せるのです。あのウグイスは、作者自身の今を表現しているのか、はたまた、今までの歩みを歌っているのかなどなど、細やかな思いは際限もなく広がるところですが、多くの場合、前に前に走りやすく目の前の景色も見過ごして生きている現実を思いますと、あの素敵なメロディーに乗った歌詞が思い起こされて立ち止まるのです。季節の移り変わりは間違いなく巡っております。私自身が追い付かずに、大事なことも見えずに一日一日に明け暮れていることに気付くのです。春は冬眠を続けた木々の実や花々が一斉に開花して、新しい緑の葉も世界を変えてくれます。水も空気も緩むことを肌で感じながら、新しい季節を味合える、生きる希望も抱かせてくれる自然の力もいただけます。春よ来い、早く来い！ですね。

一方で、巣立ちと共に別れの季節でもあります。いよいよ、年長さんの卒園も間近になった現実もあるのです。成長の喜びと共に別れがあるのです。取り分け幼稚園時代に限っても出来ないことが出来るようになった！自分以外の人に思いを寄せながら生活が送れるようになった！沢山の自然体験で、これからの生きる視点を作れた！遊びこめたことは生涯の生きる骨子になった！楽しいことが見付かった！沢山の思い出が出来た！身体も大きくなった！3年間の幼稚園生活が修了の時期は、新しい世界への出発でもあります。お家の家族の人たちに、その都度、支えてもらい乗り越えてきた幼稚園生活であります、自分が好きだ！自分を大事にしながらの経験で、自己評価がそれぞれに高めて今を迎え、これから出会うことにも、それぞれに前を向いて歩んでくれることでしょう。一生懸命に生きて、自分の歴史を語れる人になってくれることでしょう。この春は、子ども達一人ひとりの出発の春です。みんなで、この春に感謝して、嬉しい春の中に飛び出して行きましょう